

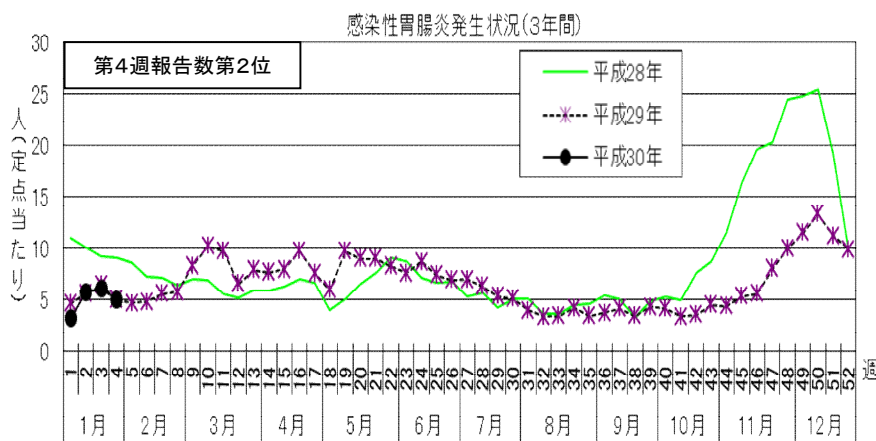
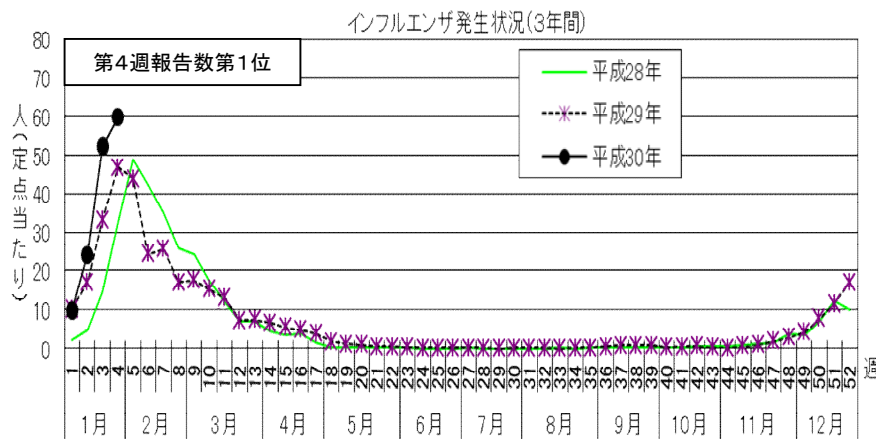
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年1月22日（月）～平成30年1月28日（日）〔平成30年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は59.77人と前週（52.16人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.05人と前週（6.11人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.19人と前週（2.65人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

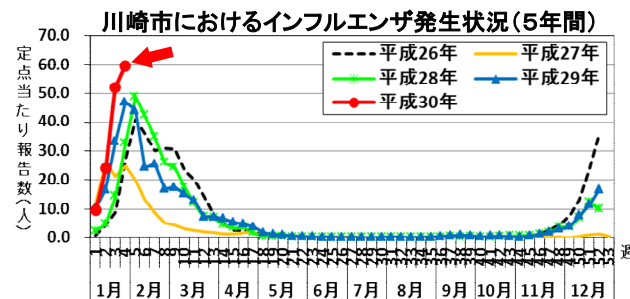
★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



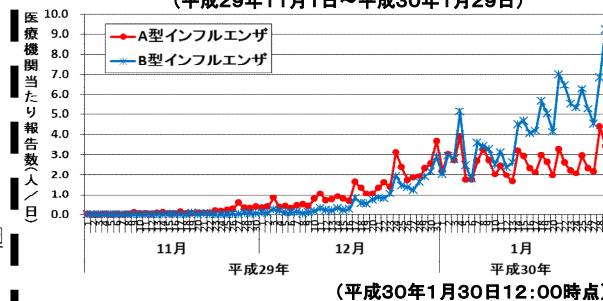
過去最多の報告数！！～インフルエンザ～

川崎市では、インフルエンザの平成30年第4週（1月22日～1月28日）の定点当たり報告数が59.77人となり、現在の調査方法となった平成11年以降、過去最多の報告数となりました。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、12月中旬以降A型及びB型インフルエンザともに報告数が増加し、1月中旬以降はB型インフルエンザがA型インフルエンザを大きく上回っています。また、健康安全研究所に搬入される検体からは、A型（AH1pdm09型、A香港型）、B型ともに多く検出されています。



川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)
リアルタイムサーベイランス(インフルエンザ発生状況)
(平成29年11月1日～平成30年1月29日)



川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況

